

- 既存樹木の維持管理
- ・既存・新規植栽について





水鳥前のシマトネリコ





剪定痕がそのままで目立つ →保護剤の使用

植物園で使用している保護材の例



or



ラックバルサム

トップジンMペースト+キニヌール

景観に配慮した(自然風な)剪定の基本

- 枝を途中で止めない (ぶつ切りにしない)
- ・剪定後は保護材を塗り、切り口を保護し目 立たなくする
- 適切な位置(枝付け根:ブランチカラー) で剪定する→切り口がきれいに癒合する

→切ったことがわからないような剪定が理想



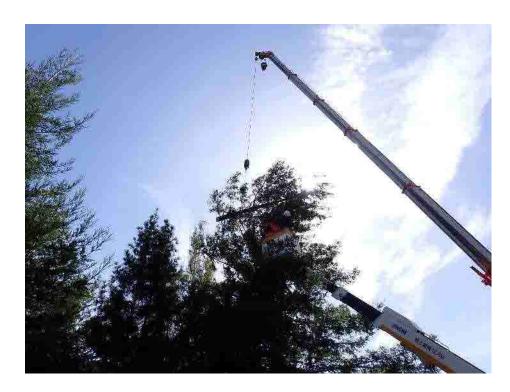


高木の剪定

①大型重機を使用した剪定

例) 高所作業車(+移動式クレーン)





②ツリークライミング技術を応用した 剪定

例) アーボリスト

#### メタセコイアの落葉対策

ペンギンの落ち葉の誤飲予防・設備保護

- ・落ち葉の量の軽減
- →樹高は下げず、込み入っ た枝を剪定する
- ・展示場の上に屋根などをつける
- ・ペンギン舎の移設



#### 植栽について

- ・丈夫な樹木の多用
- →シマトネリコ、ブラシノキなどが多い
- →各展示場前にある丸い植栽枠は展示動物に合った植栽 を心がける
- →ケヤキやシイ類など根が大きく発達する樹種は避ける
- →オーストラリア系樹木はブラシノキ以外にもユニークなものが多く、変化をつけるとよい
- ・イメージの強い樹種や印象の異なる樹種を控える例) アジサイ類→園芸植物としてのイメージが強い アメリカデイゴ→南米以外のところでは違和感を 生むので避ける





#### 植栽について

- ・来園者の危険を避ける
- →マンドリル展示場前のアガヴェ は葉先が危険であり、来園者の手 が触れない場所に移植する



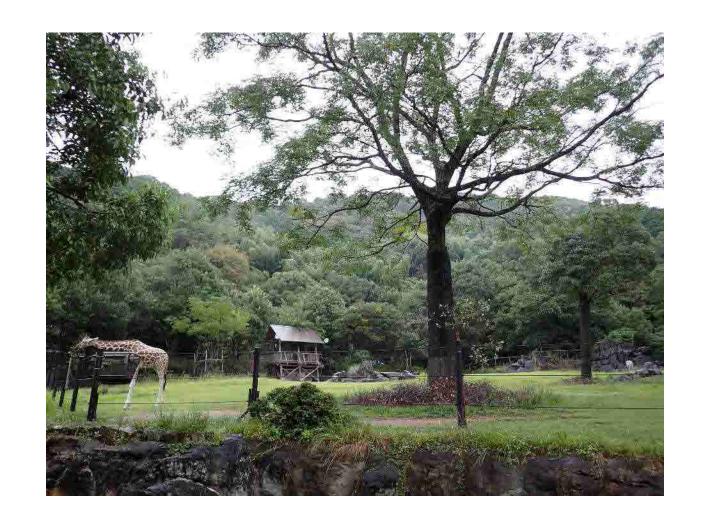
→ウバメガシなど、害虫(マイマイガなど) が発生しやすい樹種を多用しない



#### 植栽について

・気候的に動物の生態に 合わせた植栽が難しいエ リアやエリア間の導線な とない野市周辺の植生に 合わせるのが良いのでは ないか?

→サバンナ大展示場のセンダンなどは違和感はないと感じる。



# 植栽 (温帯の森)

和名	学名	科名	分布	備考
カロリナハコヤナギ	Populus deltoides	ヤナギ科	北米のカロライ ナ州やフロリダ 州の川辺	
フレモントコットンウッド	Populus fremontii	ヤナギ科	北米〜メキシコ の渓流、湧水地、 湿地など	
ケムリノキ	Cotinus coggygria	ウルシ科	中国中南部、インド北西部、ネパールなどの森林、丘陵、薮地	
ユリノキ	Liriodendron tulipifera	モクレン科	北米東部の肥沃 な森林〜低山	

# 植栽 (熱帯の森)

和名	学名	科名	分布	備考
リュウビンタイ	Angiopteris lygodiifolia	リュウビンタ イ科	伊豆半島以南太平洋 岸~台湾	
ヤタイヤシ (ココスヤシ)	Butia yatay	ヤシ科	ウルグアイ、アルゼ ンチン北東部、ブラ ジル南部	園内に点在
カンナ	Canna spp.	カンナ科	中南米	冬に地上部は枯れる
オオイタビ	Ficus pumila	クワ科	日本、中国、ベトナム	常緑つる性。雌雄異株。
アコウ	Ficus sperba var. japonica	クワ科	高知県〜琉球、東南 アジア	
ヘディキウム	Hedychium	ショウガ科	熱帯アジア	ニクイロシュクシャH. carneum、ハナシュクシャH. coronariumなど
トケイソウ	Passiflora coerulea	トケイソウ科	ブラジル〜アルゼン チン	常緑つる性。フェンスな どに
カナリーヤシ	Phoenix canariensis	ヤシ科	カナリー諸島	耐寒性あり

## 植栽(オーストラリア・木本)

和名等	学名	科名	分布	備考
ゴールデンワトル	Acacia pycnantha	マメ科	オーストラリア南東 部	オーストラリアの国 花
バーケア	Baeckea	フトモモ科	オーストラリア、東 南アジアなど	B. linifolia、B. frutescensなど
バンクシア	Banksia	ヤマモガシ科	オーストラリア	B. aemula、B. integrifolia、'Pygmy Possum'など
ハウチワノキ	Dodonaea viscosa	ムクロジ科	オーストラリアほか 汎熱帯地域	
ユーカリ	Eucalyptus	フトモモ科	オーストラリア	E. citriodora、E. goniocalyx、E. gunnii、robustaなど
グレヴィレア	Grevillea	ヤマモガシ科	オーストラリア	高木~匍匐性

# 植栽(オーストラリア・木本)

和名等	学名	科名	分布	備考
ハーデンベルギア	Hardenbergia	マメ科	オーストラリア東部 ~タスマニア	つる性
メラレウカ	Melaleuca	フトモモ科	オーストラリア〜東 南アジア	M. altenifolia、M. linariifoliaなど
フェバリウム	Phebalium	ミカン科	オーストラリア	キリンの木とも呼ば れる
プロスタンテラ	Prostantera	シソ科	オーストラリア	
レプトスペルマム	Leptospermum	フトモモ科	オーストラリア〜東 南アジア	ギョリュウバイL. scoparium、L. obovatumなど
ウエストリンギア	Westringia	シソ科	オーストラリア南東 部	

# 植栽(オーストラリア・木本)



レプトスペルマム



ウェストリンギア



バンクシア・インテグリフォリア



グレヴィレア



メラレウカ



ハーデンベルギア

# 植栽(オーストラリア・草本)

和名等	学名	科名	分布	備考
カンガルーポー	Anigozanthos	ハエモドルム 科	オーストラリア南 西部	耐寒性はあまりない が、霜よけなどで対 応できる可能性あり
ブラキカム	Brachyscome	キク科	オーストラリア、 タスマニア、 ニューギニアなど	耐寒性あり
イソトマ	Isotoma (Laurentia)	キキョウ科	オーストラリア、 ニュージーランド、 西インド諸島など	耐寒性はないので夏 季の植栽苗として
ペラルゴニウム・オー ストラレ	Pelargonium australe	フウロソウ科	オーストラリア	耐寒性あり
スカエボラ	Scaebola	クサトベラ科	オーストラリア南 東部	暖地では越冬可能

# 植栽(オーストラリア・草本)



スカエボラ



ブラキカム



カンガルーポー

# 植栽(アフリカ・木本)

和名等	学名	科名	分布	備考
プロテア	Protea	ヤマモガシ科	南アフリカ	キングプロテア <i>P.</i> cynaroides、 <i>P.</i> eximiaなど
エリカ	Erica	ツツジ科	南アフリカ〜ヨー ロッパ	ジャノメエリカ <i>E.</i> canaliculata、スズ ランエリカ <i>E.</i> formosaなど
ユリオプスデージー	Euryops pectinatus	キク科	南アフリカ	常緑低木
カエンキセワタ (ライオンズイヤー)	Leonotis leonurus	シソ科	南アフリカ	常緑小低木(多年 草)

# 植栽(アフリカ・木本)



プロテア・キナロイデス



ユリオプスデージー



プロテア・エキシミア



カエンキセワタ

# 植栽(アフリカ・草本)

和名等	学名	科名	分布	備考
アガパンサス	Agapanthus	ヒガンバナ科	南アフリカ	
アロエ	Aloe	ワスレグサ科	アフリカ南東部	キダチアロエA. arborescens (12~2月)、A. striataなど
アモチャリス・コラ ニカ	Ammocharis coranica	ヒガンバナ科	サハラ砂漠以南	
クリナム	Crinum	ヒガンバナ科	南アフリカなど	アフリカハマユウ <i>C.</i> bulbispermum、 <i>C.</i> variabileなど
キルタンサス	Cyrtanthus	ヒガンバナ科	南アフリカ	C. mackeniiなど
エウコミス (パイナップルリリー)	Eucomis	クサスギカズラ科	南アフリカ	E. Humilis、E. polydifloraなど
グロリオサ	Gloriosa	ユリ科	熱帯アフリカ〜熱 帯アジア	キツネユリG. superbaなど
クニフォフィア (ト リトマ)	Kniphofia	ワスレグサ科	アフリカ東部〜南部	K. linearifoliaなど

# 植栽(アフリカ・草本)

和名等	学名	科名	分布	備考
ニチニチソウ	Catharanthus roseus	キョウチクトウ科	マダガスカル	一年草
ネリネ	Nerine	ヒガンバナ科	南アフリカ	N. bowdenii、ヒメヒガン バナN. undulataなど
オキザリス	Oxallis	カタバミ科	南アフリカなど	ハナカタバミ <i>O. bowiei</i> 、 シボリカタバミ <i>O.</i> <i>versicolor</i> など
スパラキシス	Sparaxis	アヤメ科	南アフリカ	S. Tricolor、S. grandifloraなど
ワトソニア	Watosonia	アヤメ科	南アフリカ	W. humilis、W. tablaris など
オダンダカイウ (カラー)	Zantedeschia aethiopica	サトイモ科	南アフリカ	

## 植栽(アフリカ・草本)



クニフォフィア・リネアリフォリア

パイナップルリリー

クリナム・バリアビレ

キルタンサス・マッケニー

#### 植栽 (ジャングルミュージアム・東南アジア)

和名等	学名	科名	分布	備考
バウヒニア・コッキ ネア	Bauhinia coccianea	マメ科	東南アジア	つる性
トーチジンジャー	Nicolaia elatior	ショウガ科	マレーシア〜インド ネシア	
サンジャクバナナ	Musa acuminata 'Dwarf Cavendish'	バショウ科	インド〜マレーシア、 ポリネシア西部	高さ1m程度の矮性種
ネペンテス	Nepentes	ウツボカズラ科	熱帯アジア	食虫植物
ヒスイカズラ	Strongylodon macrobotrys	マメ科	フィリピン	
プラチケリウム	Platycerium	ウラボシ科	東南アジア、オース トラリア北部など	ビカクシダ <i>P. bifurcatum</i> 、 オオビカクシダモドキ <i>P.</i> <i>coronarium</i> など

## 植栽 (ジャングルミュージアム・東南アジア)



バウヒニア・コッキアナ



トーチジンジャー



オオビカクシダモドキ



ヒスイカズラ



ネペンテス

### 植栽(ジャングルミュージアム・中南米)

和名等	学名	科名	分布	備考
アンスリウム	Anthurium	サトイモ科	南アメリカ	
カラテア	Calathea	サトイモ科	熱帯アメリカ	
ヘリコニア	Heliconia	オウムバナ科	熱帯アメリカ	H. rostrata、H. strictaなど
モンステラ	Monstera	サトイモ科	熱帯アメリカ	つる〜半つる性。オオマド カズラ <i>M. adansonii</i> など
ペトレア・ウォルビ リス	Petrea volbilis	クマツヅラ科	熱帯アメリカ	つる性
ゴクラクチョウカ	Strelitzia reginae	ゴクラクチョウカ科	南アメリカ	
シンゴニウム	Syngonium	サトイモ科	熱帯アメリカ	つる性
ティランジア	Tillandsia	パイナップル科	熱帯アメリカ	T. cyanea、サルオガセモ ドキT. usneoidesなど

## 植栽(ジャングルミュージアム・中南米)



モンステラ・デリキオサ



シンゴニウム・ポドフィルム



カラテア



サルオガセモドキ



ヘリコニア



ゴクラクチョウカ

# 植栽 (林床など)

和名	学名	科名	分布	備考
シュウカイドウ	Begonia grandis	シュウカイドウ科	中国	宿根草
ヤマブキ	Kerria japonica	バラ科	日本、中国	落葉低木
ノシラン	Ophiopogon jaburan	クサスギカズラ科	日本、韓国(済州島)	常緑多年草
キバナアキギリ	Salvia nipponica var. nipponica	シソ科	日本	常緑多年草
ユキミバナ	Strobilanthes wakasana	キツネノマゴ科	日本(福井、滋賀県)	常緑多年草 グランドカバーとして
キチジョウソウ	Reineckea carnea	クサスギカズラ科	日本、中国	常緑多年草
キバナアマ	Rheinwardtia indica	アマ科	中国南西部、イ ンド北部、パキ スタン	落葉低木(宿根草)

# 植栽(林床など)



ユキミバナ



ノシラン



シュウカイドウ



キバナアマ



キバナアキギリ

## 植栽(その他)

三宝山など香南市に自生する植物で構成

- ・野市総合公園としての景観的調和
- ・香南市の植生の豊かさの啓発、保護

和名	学名	科名	分布	備考
ヤマブキ	Kerria japonica	バラ科	国内に広く分布し、庭 木としても使用される	落葉低木
イブキボウフウ	Libanotis coreana var. coreana	セリ科	県内では野市周辺地域 の石灰岩地に限定	多年草
クスドイゲ	Xylosma congesta	ヤナギ科	海岸近くの林内	常緑低木 幹に 鋭いとげがある
ヒメヒゴタイ	Saussurea pulchela	キク科	県内では石灰岩地に多 い	多年草
ヒメコウゾ	Broussonetia monoica	シソ科	日本	落葉低木 果実 が食用になる

#### まとめ

#### ・樹木の剪定

- →枝を途中で止めず、適切な位置で剪定する
- →切り口に保護材を塗り、剪定痕を目立たなくする

#### ・植栽について

- →同じ樹種を多用しすぎない
- →来園者、動物に危害が及ぶ植物を避ける。動物園なので病害虫防除 が必要な樹種を減らす。
- →動物の生息地に合った植物を調査し、栽培可能かどうかを検証する
- →近隣に自生する植生を適宜取り入れる